

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

令和8年2月17日 午後用

第77回獣医師国家試験 学説試験問題 (B)

注意事項

1. 問題数は80問であり、解答時間は2時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを1つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1問につき2つ以上マークした場合には、そのうちの1つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問81 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

81 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうちE 3 ☑を横線で、
81 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ずHBの鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……   

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

問1 急性腎不全において十分な補液後に用いる利尿薬として適切なのはどれか。

- a マンニトール
- b フロセミド
- c ヒドロクロロチアジド
- d アセタゾラミド
- e デスマプレシン

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問2 犬回虫症の治療薬として適切なのはどれか。

- a ピランテル
- b ジミナゼン
- c スルファモノメトキシシ
- d メトロニダゾール
- e イベルメクチン

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問3 貧血の治療薬として適切なのはどれか。

- 1. エリスロポエチン
- 2. 顆粒球コロニー刺激因子 (G-CSF)
- 3. インターロイキン-6 (IL-6)
- 4. 腫瘍壊死因子- α (TNF- α)
- 5. インターフェロン- γ (IFN- γ)

問4 中毒とその解毒薬の組合せとして適切なのはどれか。

中毒	解毒薬
a 硝酸塩中毒	メチレンブルー
b カルバメート中毒	プラリドキシム
c スイートクローバー中毒	エデト酸カルシウム二ナトリウム
d エチレングリコール中毒	シュウ酸カルシウム
e 鉛中毒	ジメルカプロール

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問5 中枢神経系疾患とその病変の組合せとして誤っているのはどれか。

疾患名	病変
1. 鶏脳脊髄炎	神経細胞の中心性色質融解
2. 豚のオーエスキー病	神経細胞内の核内封入体
3. 牛のリステリア症	脳幹部の微小膿瘍形成
4. 牛のビタミンE欠乏症	大脳皮質の層状壊死
5. 羊のスクレイピー	神経細胞の空胞形成

問6 犬ジステンパーでみられる肺の病変はどれか。

- a 立方上皮化生したⅡ型肺胞上皮細胞の増生
- b 炎症細胞浸潤による肺胞壁の肥厚
- c 多病巣性の凝固壊死
- d ラングハンス型巨細胞の出現
- e 気管支周囲のリンパ濾胞の過形成

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問7 犬のインスリノーマに関する記述として正しいのはどれか。

- a 腫瘍細胞は管状、乳頭状に増殖する。
- b 付属リンパ節や肝臓へ転移する。
- c 腫瘍組織内にアミロイドが沈着する。
- d 胃十二指腸潰瘍が生じる。
- e 表在性壊死性皮膚炎が生じる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問8 「家畜伝染病予防法」の届出伝染病に指定される鳥インフルエンザの対象でないのはどれか。

- 1. あひる
- 2. うずら
- 3. きじ
- 4. 鶏
- 5. 七面鳥

問9 牛の異常産ワクチンとして国内で使用されていないのはどれか。

- 1. アカバネ病ワクチン
- 2. アイノウイルス感染症ワクチン
- 3. ピートンウイルス感染症ワクチン
- 4. ブルータンダワクチン
- 5. チュウザン病ワクチン

問10 節足動物により生物学的に伝播する感染症はどれか。

1. 牛伝染性リンパ腫（地方病性牛白血病）
2. 馬伝染性貧血
3. 豚痘
4. 牛流行熱
5. 鶏痘

問11 仮性皮炎に関する記述として適切なのはどれか。

- a 起因病原体はグラム陽性細菌である。
- b 「家畜伝染病予防法」で馬を対象とした届出伝染病に指定されている。
- c 病原体はバイオセーフティレベル3の施設で取り扱う必要がある。
- d 予防に有効なワクチンがある。
- e 2000年以降、国内で散発的な発生がみられる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問12 我が国で患畜と診断された場合、淘汰（殺処分）対象でない感染症はどれか。

1. 結核
2. ブルセラ症
3. 気腫疽
4. 狂犬病
5. アナプラズマ症

問13 豚の萎縮性鼻炎に関する記述として正しいのはどれか。

- a 起因病原体はグラム陽性細菌である。
- b 起因病原体は運動性である。
- c 病原細菌の複合感染により、進行性萎縮性鼻炎となる。
- d 病原体の分離には血液寒天培地およびマッコンキー寒天培地を用いる。
- e 我が国での発生報告はない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問14 胎盤感染を受けた胎子が起因ウイルスに対して免疫寛容となって生まれるのはどれか。

- 1. 豚熱
- 2. 牛伝染性リンパ腫
- 3. 馬鼻肺炎
- 4. オーエスキー病
- 5. ビスナ・マエディ

問15 我が国で生ワクチンが用いられる鶏の疾患はどれか。

- 1. 鶏マラリア
- 2. コクシジウム症
- 3. ヒストモナス症
- 4. ロイコチトゾーン症
- 5. クリプトスポリジウム症

問16 「家畜伝染病予防法」で定められている届出伝染病の病原体はどれか。

1. ヒツジキュウセンヒゼンダニ
2. オウシマダニ
3. センコウヒゼンダニ
4. ウマバエ
5. ケオプスネズミノミ

問17 鶏マラリアとその病原体に関する記述として正しいのはどれか。

1. ピロプラズマ目に属する。
2. ベクターはマダニである。
3. 人獣共通感染症である。
4. 鶏は中間宿主に相当する。
5. 鶏の糞便内にオーシストを排出する。

問18 「環境基本法」に基づき地域の類型および時間の区分ごとに基準値が設定されている環境基準はどれか。

1. 悪臭
2. 振動
3. 水質汚濁
4. 騒音
5. 大気汚染

問19 窒素酸化物（NO_x）に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 主な発生源は工場、自動車および一般家庭である。
2. 2023年度における二酸化窒素（NO₂）の環境基準達成率は100%である。
3. 光化学オキシダントの生成に関与する。
4. 酸性雨の原因物質の1つである。
5. NO₂は温室効果ガスである。

問20 「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」が循環型社会を形成するために推進している3Rの組合せはどれか。

1. Refine、Reduce、Replace
2. Refine、Replace、Recycle
3. Reduce、Reuse、Replace
4. Reduce、Reuse、Recycle
5. Recycle、Replace、Reform

問21 牛乳における大腸菌群検査法の推定試験で用いられる培地はどれか。

1. BGLB
2. EC ブイヨン
3. EMB 寒天培地
4. デソ（オ）キシコレート寒天培地
5. 乳糖ブイヨン

問22 ヒトで経口感染し、妊婦の初感染では流産を引き起こす病原体はどれか。

1. トキソプラズマ
2. アニサキス
3. クリプトスポリジウム
4. ジアルジア
5. クドア・セプテンブククタータ

問23 ヒトにドライアイス・センセーションを引き起こす動物性自然毒はどれか。

1. テトロドトキシン
2. シガトキシン
3. サキシトキシン
4. テトラミン
5. ジギトキシン

問24 2001年に我が国で牛海綿状脳症の牛が確認され、その後、実施された管理措置として誤っているのはどれか。

1. と畜される牛全頭のBSE検査（2005年7月の改正省令公布まで）
2. と畜される牛全頭の特定危険部位の除去および焼却
3. 牛の肉骨粉の飼料利用禁止
4. 生食用食肉に対する成分規格の設定
5. 牛のトレーサビリティ制度の導入

問25 アフラトキシン類に関する記述として適切なのはどれか。

1. 同族体の中でアフラトキシン G₁ の毒性が最も強い。
2. ペニシリウム属の真菌によって産生される。
3. 家庭での通常の加熱調理によって失活する。
4. 国内で栽培される麦類の汚染が問題となっている。
5. 乳中のアフラトキシン M₁ は「食品衛生法」で規制されている。

問26 ヒトでは汚染された土壌や粉塵等の吸入あるいは皮膚の創傷からの感染が主であり、発症すると致死率の高い感染症はどれか。

1. デング熱
2. 類鼻疽
3. エールリヒア症
4. 猫ひっかき病
5. つつが虫病

問27 細菌性赤痢またはその病原菌に関する記述として適切なのはどれか。

1. 抗毒素血清による治療が一般的である。
2. 典型的な症状は嘔吐である。
3. 我が国で 2000 年以降の発生はない。
4. *Shigella dysenteriae* は他の病原菌よりも病原性が低い。
5. サルで本疾患を診断した獣医師は直ちに保健所に届け出る義務がある。

問28 下水に含まれる窒素およびリンの両方を除去できる処理方法はどれか。

1. 標準活性汚泥法
2. オキシデーショナルディッチ法
3. 嫌気無酸素好気活性汚泥法（A2O法）
4. 散水濾床法
5. 循環式硝化脱窒法

問29 厚生労働省が妊婦に対して、水銀含量に関連して摂取の注意喚起を出している海産物はどれか。

1. スルメイカ
2. マサバ
3. カキ
4. ヒジキ
5. クロマグロ

問30 エムボックスに関する記述として適切なのはどれか。

1. 最初の患者は欧州で報告された。
2. 2022年の世界的流行以降に我が国での患者発生報告はない。
3. WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」の宣言をしていない。
4. サルが自然宿主である。
5. ヒトではワクチン（シニアウイルスを用いた天然痘ワクチン）が有効である。

問31 げっ歯類が自然宿主でない人獣共通感染症はどれか。

1. ラッサ熱
2. エルシニア症
3. ハンタウイルス感染症
4. 南米出血熱
5. リフトバレー熱

問32 生態学的研究に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 地域、国などの集団を観察単位とする。
2. 既存資料を用いる場合は他の分析疫学研究より実施が容易である。
3. リスク因子に関する仮説の絞り込みを行うことができる。
4. 曝露要因と疾病発生との因果関係の証明力は介入研究と同程度である。
5. 生態学的錯誤はデータの質が担保されていても生じる可能性がある。

問33 要因 A が疾患 B のリスク要因となる条件として不可欠なのはどれか。

1. 要因 A が疾患 B の発症に先行する。
2. 要因 A を疾患 B の多くが有している。
3. 要因 A と疾患 B の関連が複数の国で報告されている。
4. 要因 A が疾患 B に対して量反応関係がある。
5. 要因 A によって疾患 B が発症することを動物実験で再現できる。

問34 動物疾病がもたらす経済損失において直接損失に分類されるのはどれか。

1. 防疫対策費
2. 人件費の増加
3. ワクチン費
4. 動物の死亡
5. 輸出入の制限

問35 粗飼料に分類されるのはどれか。

- a サイレージ
- b スカ類
- c 植物性油粕類
- d マメ類
- e 乾草

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問36 我が国で鶏のエネルギー要求量の評価に利用されるのはどれか。

1. 総エネルギー (GE)
2. 可消化エネルギー (DE)
3. 代謝エネルギー (ME)
4. 正味エネルギー (NE)
5. アイディアルプロテイン

問37 肉用牛（黒毛和種）の肥育ステージの肥育中期から後期前半において脂肪交雑を高めるために給与が制限されるビタミンはどれか。

1. A
2. B₁
3. D
4. E
5. K

問38 「家畜伝染病予防法」の届出伝染病のうち、全国でまん延が危惧されたことから2016年に防疫対策ガイドラインが策定され対策が強化されたのはどれか。

1. 口蹄疫
2. 牛伝染性鼻気管炎
3. サルモネラ症
4. 破傷風
5. 牛ウイルス性下痢

問39 犬の膵外分泌不全に関する記述として最も適当なのはどれか。

1. 先天性疾患である。
2. 食欲低下が主徴である。
3. 血中コバラミン濃度が上昇する。
4. 血中アミラーゼ活性測定は診断感度と特異度が高い。
5. 生涯にわたる膵消化酵素製剤の投与が必要となる。

問40 犬で低血糖を主徴とする中毒はどれか。

1. ブドウ中毒
2. 鉛中毒
3. キシリトール中毒
4. ワルファリン中毒
5. カルプロフェン中毒

問41 犬の血栓塞栓症の原因として最も適切なのはどれか。

- a 血友病 B
- b 蛋白漏出性腎症
- c 副腎皮質機能亢進症
- d 免疫介在性血小板減少症
- e 僧帽弁閉鎖不全症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問42 食事反応性腸症の療法食として適切なのはどれか。

- a 低炭水化物食
- b 低脂肪食
- c 低タンパク食
- d タンパク加水分解食
- e 新奇タンパク食

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問43 犬猫の慢性腎臓病のステージ分類の基準に含まれない検査項目はどれか。

1. 血中クレアチニン
2. 血中尿素窒素 (BUN)
3. 血中対称性ジメチルアルギニン (SDMA)
4. 尿比重
5. 尿タンパク / クレアチニン比 (UPC)

問44 「失神」の原因として最も適当なのはどれか。

1. てんかん
2. 肝性脳症
3. インスリノーマ
4. 末梢性前庭障害
5. 肺高血圧症

問45 犬の銅関連性慢性肝炎に関する記述として適当なのはどれか。

- a ラブラドル・レトリバーが好発犬種である。
- b 食事との関連は認められていない。
- c 血中フィブリノーゲン濃度が上昇する。
- d 血中銅濃度の上昇が診断に有用である。
- e D-ペニシラミンを用いて治療する。

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

問46 犬のフォンビレブランド病に関する記述として適切なのはどれか。

1. タイプ1の出血は酢酸デスマプレシンの投与により軽減される。
2. タイプ2の症例は無徴候あるいは軽度の出血徴候を示す。
3. タイプ3はX染色体劣性遺伝形式を示す。
4. フォンビレブランド因子の定量解析によってタイプの鑑別が可能である。
5. いずれのタイプでもD-ダイマーの高値を示すのが特徴である。

問47 褐色細胞腫が産生するホルモンはどれか。

1. プロジェステロン
2. エストロジェン
3. コルチゾール
4. アドレナリン
5. アルドステロン

問48 猫伝染性腹膜炎に関する記述として適切なのはどれか。

1. パルボウイルスが原因である。
2. 急性相タンパク質の上昇が認められる。
3. 単クローン性高グロブリン血症が認められる。
4. 腹水は漏出液であることが多い。
5. 血中抗体価測定により確定診断される。

問49 犬の進行性網膜萎縮症に関する記述として適当なのはどれか。

- a 視神経乳頭に異常は認められない。
- b コルチコステロイドの点眼が有効である。
- c 眼底検査においてタペタム領域の反射低下が認められる。
- d 遺伝性疾患である。
- e 視細胞が変性する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問50 犬の副腎皮質機能亢進症に関する記述として適切なのはどれか。

- a ムコ多糖が皮下に蓄積する。
- b 食欲が低下する。
- c 筋肉が萎縮する。
- d 肝腫大がみられる。
- e 末梢血液中のリンパ球が増加する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問51 犬のステロイド反応性髄膜炎・動脈炎に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. 頸部痛を生じる。
- 2. C反応性タンパク（CRP）の高値がみられる。
- 3. 脳脊髄液検査で好中球の増加がみられる。
- 4. MRI 検査で特徴的な炎症像がみられる。
- 5. コルチコステロイドが有効である。

問52 犬の分離不安に関する記述として最も適当なのはどれか。

1. 飼い主の在宅時と不在時の双方に過剰発声がみられる。
2. 飼い主の外出から数時間後に症状が発現する。
3. 飼い主の在宅時に嘔吐、下痢、震えがみられる。
4. 飼い主の在宅時に破壊的行動や不適切な場所での排泄がみられる。
5. 飼い主の不在時の症状（行動）を確認するためにビデオ撮影が有用である。

問53 馬インフルエンザに関する記述として誤っているのはどれか。

1. 我が国では 2025 年に発生報告がある。
2. 臨床現場では初期診断にヒト用インフルエンザ簡易診断キットが応用されている。
3. H7N7 ウイルスおよび H3N8 ウイルスが現在も流行している。
4. 我が国では不活化ワクチンが使用されている。
5. 米国で H3N8 ウイルスが馬から犬に伝播した報告がある。

問54 乾乳期の乳牛でエネルギー不足により上昇する血液生化学検査の項目はどれか。

1. 総コレステロール
2. 非エステル化脂肪酸
3. アルブミン
4. 血糖
5. 尿素窒素

問55 子豚の鉄欠乏性貧血の発症要因として適当なのはどれか。

- a 出生時の子豚は体内の貯蔵鉄量が少ない。
- b 腸内細菌により鉄吸収が阻害される。
- c 母乳中の過剰な鉄が腸管での鉄吸収を抑制する。
- d 子豚の赤血球は寿命が短い。
- e 急速な成長により赤血球合成に必要な鉄需要が増加する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問56 酵母様真菌による牛の乳房炎に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. 臨床型乳房炎の1～2%程度で発生する。
- 2. 食欲が著しく低下する。
- 3. グラム陽性の米粒様または卵円形の菌体が認められる。
- 4. 抗菌薬投与は病態を悪化させる可能性がある。
- 5. 治療として頻回搾乳により乳房内の菌を排出させる。

問57 X線透過性が最も高い尿路結石はどれか。

- 1. リン酸アンモニウムマグネシウム
- 2. シュウ酸カルシウム
- 3. シリカ
- 4. 尿酸アンモニウム
- 5. シスチン

問58 肉芽腫性髄膜脳脊髄炎の MRI 検査所見の組合せとして最も適当なのはどれか。

- | | T1 強調像 | T2 強調像 | T2 FLAIR 像 |
|----|--------|--------|------------|
| 1. | 低信号 | 高信号 | 高信号 |
| 2. | 高信号 | 低信号 | 高信号 |
| 3. | 低信号 | 低信号 | 低信号 |
| 4. | 高信号 | 高信号 | 低信号 |
| 5. | 低信号 | 高信号 | 低信号 |

問59 犬の大腿骨骨幹部の外側アプローチで牽引する筋肉として適当なのはどれか。

- a 縫工筋
- b 外側広筋
- c 大腿二頭筋
- d 大腿筋膜張筋
- e 大腿直筋

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問60 犬の離断性骨軟骨症に関する記述として適当なのはどれか。

- a 小型犬に好発する。
- b 主に股関節で見られる。
- c 軟骨内骨化異常が原因である。
- d 外科的治療は軟骨片の除去である。
- e 手術により変形性関節症を予防できる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問61 犬の馬尾症候群に関する記述として適当なのはどれか。

- a 若齢の大型犬に好発する。
- b ハンセン I 型椎間板ヘルニアが主原因である。
- c 大腿四頭筋の萎縮が主に認められる。
- d 膝蓋腱反射が見かけ上亢進することがある。
- e 尿失禁の有無は術後の運動機能改善の予後指標となる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問62 鎮痛剤に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. ブプレノルフィンに向精神薬に指定されている。
- 2. ブプレノルフィンは κ 受容体作動性である。
- 3. ブプレノルフィンは 6~8 時間程度作用が持続する。
- 4. ブトルファノールは鎮咳作用がある。
- 5. ブトルファノールは制吐作用がある。

問63 犬の先天性二次口蓋裂に関する記述として適切でないのはどれか。

- 1. 短頭種に多く発生する。
- 2. くしゃみや鼻汁を主徴とする。
- 3. 哺乳後に吸引性肺炎を生じる。
- 4. 治療の第一選択として口唇粘膜フラップで閉鎖する。
- 5. 複数回の手術が必要となることがある。

問64 レッグペルテス病に関する記述として適当なのはどれか。

- a 大型犬に好発する。
- b 大腿骨頭の血行障害によって生じる。
- c ほとんどが片側性跛行を呈する。
- d 大腿骨頭の X 線不透過性が亢進する。
- e 三点骨盤骨切り術が適応となる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問65 開胸下で動脈管結紮術を実施したところ術後に喉頭麻痺が生じた。損傷が疑われる神経はどれか。

- 1. 舌咽神経
- 2. 顔面神経
- 3. 反回神経
- 4. 三叉神経
- 5. 舌下神経

問66 犬の心肺蘇生中に胸骨圧迫による循環改善を評価する指標として最も適当なのはどれか。

- 1. 血中乳酸値
- 2. 終末呼気二酸化炭素濃度
- 3. 脈拍の触知
- 4. パルスオキシメトリー
- 5. 心電図

問67 犬の先天性門脈体循環シャントに関する記述として適当でないのはどれか。

1. 高齢犬では無徴候で診断される症例がある。
2. 小肝症が認められる。
3. 短絡血管は門脈本幹よりも細い。
4. 内科治療として抗菌薬が用いられる。
5. 術後合併症として発作が生じる。

問68 犬の膀胱腫瘍に関する記述として最も適切なのはどれか。

1. 扁平上皮癌が最も多い。
2. 排尿困難の原因となる。
3. 単純 X 線検査で診断できる。
4. 症例の多くが膀胱部分切除で治療可能である。
5. コルチコステロイドを用いた治療により寛解する。

問69 馬の蓄膿症に関する記述として適切なのはどれか。

- a 上気道の炎症に続発する。
- b 水溶性鼻漏が認められる。
- c 鼻梁部の打診で鼓音が聴取される。
- d 副鼻腔内の貯留物は超音波検査で確認する。
- e 重症例では円鋸術を行う。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問70 牛の蹄葉炎の発症要因として適当でないのはどれか。

1. 急激な増体
2. 過長蹄
3. 第一胃アシドーシス
4. 迷走神経性消化不良
5. エンドトキシン血症

問71 牛の発育不全黄体の治療に用いるのはどれか。

1. FSH
2. hCG
3. PGF_{2a}
4. プロジェステロン
5. エストロジェン

問72 豚の卵胞嚢腫の治療に用いるのはどれか。

- a GnRH
- b hCG
- c PGF_{2a}
- d プロジェステロン
- e エストロジェン

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

問73 胎子ミイラ変性に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 子宮内で死亡した胎子が体液を失って萎縮硬化したものである。
2. 子宮動脈の拍動は弱い。
3. 多胎妊娠時に一部の個体でミイラ変性がみられる。
4. 治療はPGF_{2α}を投与し胎子の排出を促す。
5. 帝王切開後の母牛の繁殖性は著しく低下する。

問74 牛の尿膜水腫に関する記述として正しいのはどれか。

1. 胎膜水腫のうち10～20%を占める。
2. 妊娠3～4か月頃に発生する。
3. 胎子の異常が原因である。
4. 帝王切開では尿膜水を少しずつ除去する。
5. その後の繁殖性には影響しない。

問75 リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルスに持続感染し、ウイルスキャリアーとなる実験動物はどれか。

1. シリアンハムスター
2. スンクス
3. サル
4. イヌ
5. モルモット

問76 クローズドコロニーに分類されるマウスの系統名はどれか。

- a BALB/c
- b C3H
- c C57BL/6
- d ddY
- e ICR (CD-1)

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問77 コイ科魚の疾患と特徴的な病変の組合せとして適当なのはどれか。

- | 疾患 | 病変 |
|--------------------------|-----------|
| 1. コイヘルペスウイルス病 | 体表の扁平な隆起物 |
| 2. キンギョのエロモナス・ハイドロフィラ感染症 | 立鱗 |
| 3. コイのカラムナリス病 | うきぶくろの膨張 |
| 4. コイのアルゲルス症 | えらぐされ |
| 5. キンギョの白点病 | 腎臓の白色結節 |

問78 魚類の飼育水に関する記述として正しいのはどれか。

- a 酸素は淡水よりも海水により多く溶解する。
- b 地下水の溶存窒素量は少ない。
- c 平均的な海水は酸性である。
- d 水温は魚類の生理機能に直接影響を及ぼす。
- e 亜硝酸態窒素は魚類に毒性を示す。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問79 ウナギとヒラメの両方に発生し大きな被害をもたらす細菌性疾病はどれか。

1. リンホシスチス症
2. ヘテロスポリス症
3. 類結節症
4. せっそう病
5. エドワジエラ症

問80 水産用医薬品に関する記述として正しいのはどれか。

- a ビタミン剤は水産用医薬品に含まれない。
- b 水産用ワクチンに油性アジュバントを加えることは認められていない。
- c 麻酔剤が承認されている。
- d 承認された水産用医薬品の使用において獣医師の処方は不要である。
- e 国内でウイルス性疾病に対するワクチンは承認されていない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

